

非日常の体験で、交流が生まれる場になるように

「笑 顔で参加者が、そりに乗っている姿を見て、とてもうれしかった」とほほ笑むのは、市さくら公園周辺を会場に犬ぞり体験イベントを開いた齋藤顕人さんと妻の宏恵さん。市観光協会と連携し1月から3月まで計7日間開催したイベントは、多くの愛犬家でにぎわった。

かかれていた犬ぞり大会に参加してみると「犬と一体になって走っている感じが好きになって」と当時は振り返る。

各地の犬ぞり大会を追いかけようになったが、コース途中で犬が走らなくなるなど、調整が上手いかず悩んだ時期もあったという。「人間の基準で考えるのではなく、犬がやりたいか、やりたくないかで考えると良い」と先輩マッシャーにアドバイスを受け、犬との向き合い方を見直すようになったと夫妻でうなずく。

市観光協会と連携し、犬ぞり体験イベントを開催

齋藤 顕人 さん

宏恵 さん

さいとう・あきと ひろえ 55歳 55歳 上野駄

大会参加のため、毎年本市にも足を運ぶ中、人とのつながりや関東の積雪量の減少、犬に適した環境が決め手となり令和3年に移住した齋藤さん夫妻。「移住したばかりの

ころは環境の変化に辛くなったこともあった」という宏恵さんだが「犬ぞりでつながった人や近所の人に支えられた」と話す。「やらないで後悔よりやって後悔がモットーの顕人さん。これまで市内で開かれていた犬ぞりレースが、今年は開かれないうこととなり、自分たちでの開催を模索。「犬ぞりの町プロジェクト」を立ち上げると、市観光協会と



「イベントを開くことができたのは、関係者の協力があってこそ」と感謝する齋藤さん夫妻(3月12日、市役所本庁舎前)

の共催で「初心者、未経験者も体験できるような形で」のイベント開催にこぎつけた。「手探り状態でやっているが、協力してくれる人がたくさんいるので心強い」と支援に感謝する。

「犬ぞりは人と犬が信頼し合う、パートナーになれるスポーツ。もっとアピールして、気軽に楽しめるようにしていきたい」とイベントの継続を誓う。



令和7年4月3日発行
〒028-7397岩手県八幡平市野駱第21地割170番地
ホーデー・ジ https://www.city.hachimantai.lg.jp

▽大更の卒業式を取材。ピンと背中を伸ばすと、受け取った証書を照れながらも親御さんに誇らしげに見せる卒業生の姿に、自分の娘の姿を重ね合わせて想像し、グッと来ると同時に、鼻の奥がつうーんとなりました。新生活に慣れ、元気な3年間を送ることができるよう願っています。◎
▽キラリの齋藤さん夫妻を取材。2、3回ほど犬ぞり体験イベントに足を運びましたが、毎回快く受け入れていただきました。会場は、ワンコ愛と、もふもふに溢れていて、犬派の私はとても楽しみなながら取材をさせてもらいました。ありがとうございます。◎

編集後記

【広告】
関節の痛み・変形、痺れ、生活習慣病
専門家が丁寧に診察いたします。

	月	火	水	木	金	土
	整	整	整	内	整	整
8:45~11:30	●	●	●	●	●	●
13:45~17:30	●	●	—	●	●	—

整=整形外科 内=内科
八幡平市大更25-117-2 TEL.0195-76-2318

※広報はちまんたい4月3日号(No358)の印刷経費は1部102.82円、発行部数は9,844部です。経費の一部は広告料で賄われています。広告掲載については、株総合広告社(☎019-626-3370)まで。

